通 常 用

作成日：　令和　6 年　8 月　8 日
担当課：　地域活力創生 部　商工観光 課

令和５年度　指定管理者導入施設　管理運営評価シート（標準例）

1　評価対象施設の概要

施設名称	高山竹林園				
所在地	高山町3440番地				
指定管理者名	奈良県高山茶筌生産協同組合	指定期間	開始日	令和　4 年　4 月　1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和　9 年　3 月　31 日	
選定方法	非公募	評価実施年	指定期間　5 年のうち　2 年目		
設置目的	地場産業である竹製品の振興、施設を拠点とした観光の振興等市の賑わいづくりと関係人口の拡大に資することを目的とする。				
主な実施事業等	施設使用許可、高山竹あかり、竹製品の案内等地場産業の振興等				

2　利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
来園者数	人	なし	20,594	85.5%	イベント等の開催状況による
実施事業	件	9	10	100.0%	

3　事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	39,718,000	40,421,446	39,768,627
指定管理料		36,631,000	36,631,000	36,184,000
利用料金収入	C	300,000	299,100	300,160
自主事業収入		2,381,000	3,068,455	2,854,033
その他		406,000	422,891	430,434
支出計	B	39,718,000	38,272,094	37,999,066
指定事業費		37,337,000	36,420,428	36,435,959
うち人件費	D	18,676,000	17,662,136	18,230,074
うち再委託料	E	4,170,000	4,346,931	3,741,530
自主事業費		2,381,000	1,851,666	1,563,107
事業収支	A−B	0	2,149,352	1,769,561
利用料金比率	C/A	0.8%	0.7%	0.8%
人件費比率	D/B	47.0%	46.1%	48.0%
再委託費比率	E/B	10.5%	11.4%	9.8%

補足説明（必要に応じて記入）

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4　利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	(利用者ｱﾝｹｰﾄ)・ 意見箱の設置 ・ その他（　　）

実施結果	意見内容等	対応実績等
	別紙のとおり	別紙のとおり

5　管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）

施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）

指定管理者による自己評価

竹林園をより多くの方々に知って頂き、気軽に来園いただけるように、PR等に努め、茶筌、茶道具、編針などの地場産業の振興を図るため積極的な運営管理を実施した。

市の評価

来場者への説明など丁寧に対応されている。施設設置の趣旨に基づいて、適切に運営されている。

市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）

指定管理者による自己評価

高山竹林園条例及び同施行規則に基づき、利用者に対し平等で公平な運営・管理を行った。

市の評価

適切に運営されている。引き続き利用を促進していただきたい。

利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）

指定管理者による自己評価

利用者アンケートの施設の利用後の満足度について、全ての方に「満足」、「やや満足」の高い評価をいただいた。

市の評価

満足度が高くリピート利用が見込まれる。リピート利用の促進に努めていただきたい。

経費の縮減等の効果（効率性）

経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）

指定管理者による自己評価

各種物品等のあらゆる物の値上げが続く中、不要不急の物品購入を避けるとともに、軽度の修理等は職員が材料等を手配し直営で修理することで経費を節減し、老朽化施設の工事や修理についてもその必要性をよくよく検討し、適切な施設の維持管理に努めた。

市の評価

職員でできるところは職員で対応している点が、十分な経費の削減につながっている。

収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）

指定管理者による自己評価

これまで以上に親切・丁寧な接客を行い、リピーターや新規利用者の増加に努めたが 、施設利用料金収入は減収となった。一方、お抹茶体験売上をはじめ、販売品目の増加等により自主事業収入は増加した。

市の評価

施設利用者の増加は課題であり、利用方法のPRなどに努めていただきたい。茶筌の需要増加などの要因が考えられるが、引き続き供給の安定を図っていただきたい。

適正な施設の管理運営（適正性）

施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）

指定管理者による自己評価

利用者へのサービスの質の向上と、従業員の資質の向上のため、職員間で情報を共有し、施設の効率的な管理運営に繋げた。

市の評価

適切に情報の管理や従業員の配置をしている。

自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）

指定管理者による自己評価

茶筌、茶道具等の販売、「高山ソフト」の販売、「お抹茶体験」の毎日の実施とともに、新しく抹茶碗の販売や野点形式でのお抹茶体験を実施した。また、カード決済も実施し、利用者へのサービスの向上に努めた。

市の評価

工夫して運営されている。利用の促進につながる自主事業をさらに検討していただきたい。

安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）

指定管理者による自己評価

個人情報の保護、各種点検の実施、消防訓練等を実施するとともに、電気柵の設置によりイノシシの進入を防止することで、園施設と利用者の安全に努め、年間を通じて事故の無い施設運営をすることができた。

市の評価

設備に関する知識を持ち、施設の状況をよく確認して、市とも十分に情報共有を図っている。

サービスの安定的な提供（安定性）
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）
指定管理者による自己評価
積極的・効率的な施設運営と事業実施により、約2,149千円の経常利益を計上することができた。
市の評価
経費の削減など効率化に努めていただいた。さらなる施設の利用促進に努めていただきたい。

6　指定管理者の財務の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産	4,520,584	5,543,591	7,028,779
流動資産	4,520,584	5,543,591	7,028,779
固定資産			
負債	518,314		
流動負債	518,314		
固定負債			
純資産	4,002,270	5,543,591	7,028,779
資本金	210,000	210,000	210,000
売上高	43,741,601	47,891,220	44,330,945
経常利益	91	1,541,326	1,325,188

7　指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自己資本比率 純資産/資産×100	88.5%	100.0%	100.0%
負債比率 (流動負債＋固定負債)/純資産×100	13.0%	0.0%	0.0%
固定比率 固定資産/純資産×100	0.0%	0.0%	0.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	872.2%	-	-
固定長期適合率 固定資産/(純資産＋固定負債)×100	0.0%	0.0%	0.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	967.6%	863.9%	630.7%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	0.0%	27.8%	18.9%

8　総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
高山竹林園利用者アンケートでは、施設利用後の満足度で全ての方に「満足」「ほぼ満足」とお答えいただくとともに、「また、竹林園を利用したいですか」の設問で、ほぼ全ての方に「利用したい」とお答えいただいています。これは、これまで以上に笑顔や挨拶、丁寧な説明等に努めたことにより、スタッフの接客対応に非常に高い評価をいただくとともに、「茶筌の制作実演」の毎週日曜日の実施や、「お抹茶体験」の毎日実施など、お客様目線での事業展開や竹林の整備等が高く評価されたものと考えています。今後更に効率的な施設運営と事業実施に努めるとともに、自主事業の更なる充実に努めたいと考えています。
市の評価
指定管理者による自己評価にもあるように、例年通り、来訪者への対応や設備に力を入れているため満足度は高くなっていると考えられる。令和６年度から営利目的の利用も可能となり、市の観光行政としても力を入れているエリアであるので、来場者の増加につながる利用促進、事業の実施を行っていただきたい。

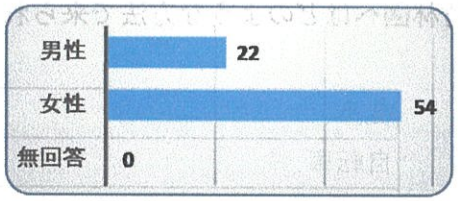
令和５年度　高山竹林園利用者アンケート結果

実施期間：令和５年１０月１５日～１１月１４日
回答者数：７６人

1　あなた自身のことについて、お聞かせください。

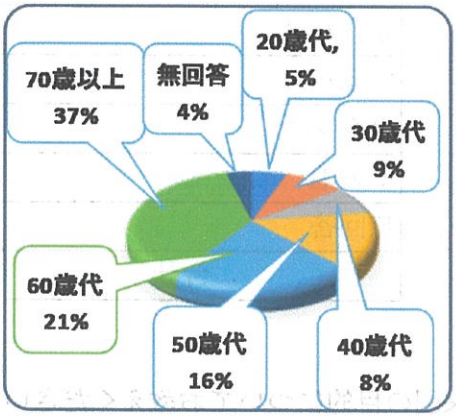
①あなたの性別は？

男性	22 人
女性	54 人
無回答	0 人
合計	76 人



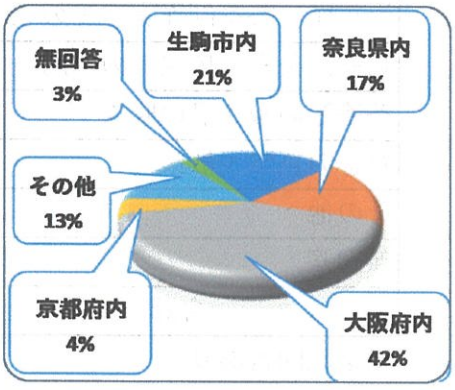
②あなたの年齢は？

20歳未満	0 人
20歳代	4 人
30歳代	7 人
40歳代	6 人
50歳代	12 人
60歳代	16 人
70歳以上	28 人
無回答	3 人
合計	76 人



③あなたのお住まいは？

生駒市内	16 人
奈良県内	13 人
大阪府内	32 人
京都府内	3 人
その他	10 人
無回答	2 人
合計	76 人

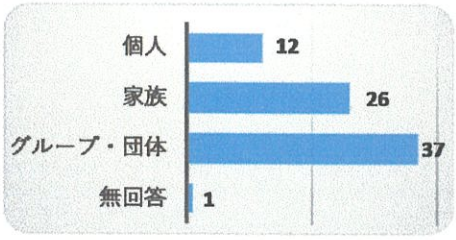


【その他の内訳】

神奈川県４人、兵庫県２人、愛知県２人、和歌山１人、千葉県１人

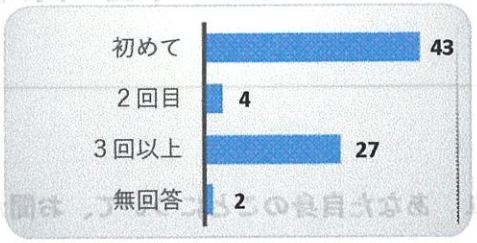
④誰と来られましたか？

個人	12 人
家族	26 人
グループ・団体	37 人
無回答	1 人
合計	76 人



⑤来園は何回目でしか？

初めて	43 人
２回目	4 人
３回以上	27 人
無回答	2 人
合計	76 人



2　竹林園へはどのような方法で来られましたか

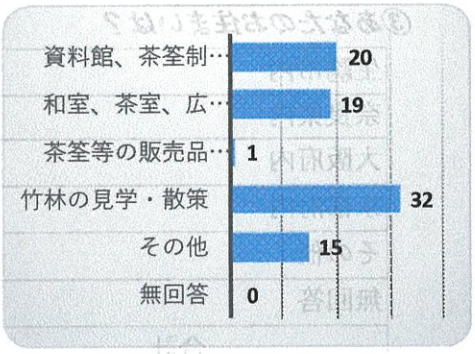
徒歩	11 人
自転車	6 人
バイク	1 人
乗用車	41 人
観光バス	2 人
路線バス	13 人
タクシー	0 人
その他	1 人
無回答	1 人
合計	76 人



3　来園の目的についてお教えください。

資料館、茶筌制作実演等の見学	20 人
和室、茶室、広場等の利用	19 人
茶筌等の販売品の購入	1 人
竹林の見学・散策	32 人
その他	15 人
無回答	0 人
合計	87 人

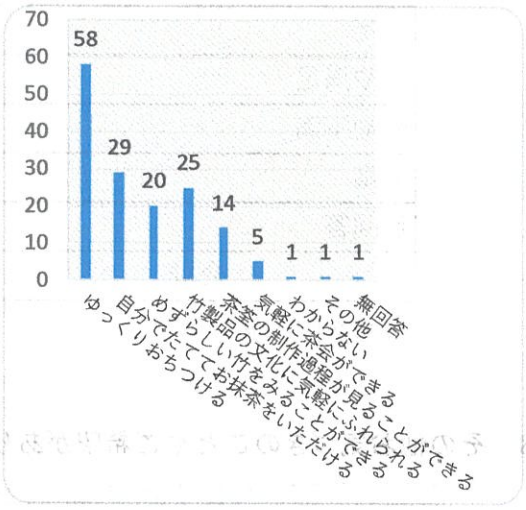
※複数回答あり



4　高山竹林園の魅力についてお聞かせください。

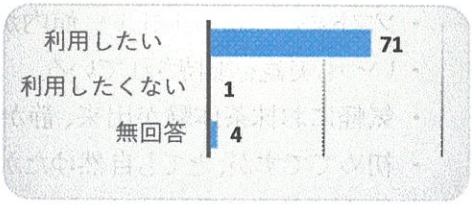
ゆっくりおちつける	58 人
自分でたててお抹茶をいただける	29 人
めずらしい竹をみることができる	20 人
竹製品の文化に気軽にふれられる	25 人
茶筌の制作過程が見ることができる	14 人
気軽に茶会ができる	5 人
わからない	1 人
その他	1 人
無回答	1 人
合計	154 人

※複数回答あり



5　また、高山竹林園を利用したいですか

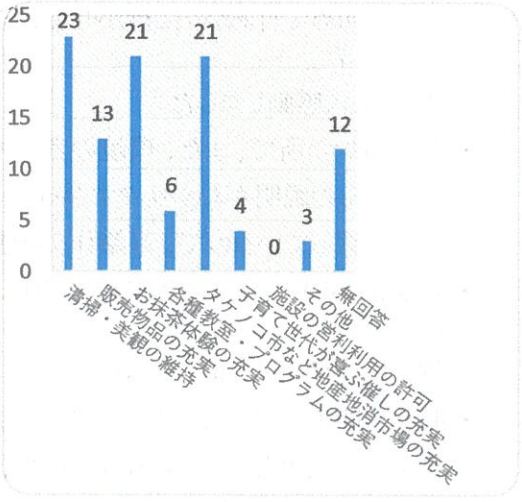
利用したい	71 人
利用したくない	1 人
無回答	4 人
合計	76 人



6　今後、この高山竹林園の運営に望むものは何ですか

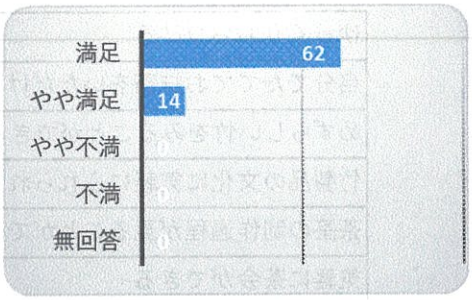
清掃・美観の維持	23 人
販売物品の充実	13 人
お抹茶体験の充実	21 人
各種教室・プログラムの充実	6 人
タケノコ市など地産地消市場の充実	21 人
子育て世代が喜ぶ催しの充実	4 人
施設の営利利用の許可	0 人
その他	3
無回答	12 人
合計	103 人

※複数回答あり



7　高山竹林園をご利用いただき満足いただけましたか

満足	62 人
やや満足	14 人
やや不満	0 人
不満	0 人
無回答	0 人
合計	76 人



※複数回答あり

8　その他お気づきのことやご希望がありましたら、ご自由にお書きください

※意見としてご記入いただいたものを、そのまま記載しています。

- 茶筌の制作はなかな拝見できません。ラッキーです。
- 大変気持ち良く使わせていただいております。
- 落ちつける場所で好きです。職員さんがいつも愛想が良くてステキです。
- 自然の空気をおもいっきり感じられて、穏やかな気持ちになれます。
- ソフトクリームが美味しい。館内がきれい
- いつも美観を維持されている。
- 気軽にお抹茶体験が出来、静かな風情を楽しめて、良かったです。
- 初めてですが、とても自然ゆたかで良かったです。又、来園したいと思います。
- 初めて寄せて頂きましたが、落ち着いた雰囲気でお茶を頂き良かったです。家でお茶をたててみようと思います。
- 抹茶飲んで好味でした。ごちそう様でした。
- 景色がとてもきれいで、静かで、癒しをいただけました。
- 今年、初めて竹あかりに行かせて頂きました。とても幻想的で美しく感動しました。ありがとうございました。
- すばらしく感動しました。
- 落ち着いた所で、また、環境の良い所で、見学体験ができありがたいです。
- 職人さんの説明がわかりやすかった。質問にも丁寧に対応してくれた。
- 茶道を習っているので、茶筌作りの見学はおもしろかったです。ありがとうございました。
- 竹製品がいろいろあるのにびっくりしました。たいへん勉強になりました。ありがとうございました。
- 細かい説明をして頂いて楽しかったです。
- 制作を間近で見られて良かったです。
- 自分では美味しく立てられないので、せっかくのお抹茶がもったいなかったです。
- いつもありがとうございます。
- ソフトクリームが美味しかったです。
- もっと竹林たんのう出来る遊歩道があれば尚良い。
- 静かな所で、お茶でまったりできました。ありがとうございました。

成果目標の達成状況及び課題の分析と自己評価

高山竹林園の管理運営については、新型コロナが5類に移行され社会も徐々にコロナ前に戻りつつある中、指定管理2期目の2年度として「施設の運営方針」に基づき、奈良県高山茶筌生産協同組合のこれまでの施設管理に係るノウハウを生かし、効率的・効果的に生駒市の地場産業である茶筌などの竹製品生産の振興と、観光をはじめとする「市の情報発信基地」として、施設と地域が連携して活性化することを目指し、下記の事業に取り組みました。

(1) 維持管理について

高山竹林園は、平成元年7月にオープンされ35年を経過した施設であるため経年劣化に伴う施設や機器の修理に対応するとともに、敷地内の竹林はじめとした植栽の剪定整備及び草刈りの他、日常の補修や清掃により施設のより良い維持管理に努めました。

特に、今年度も竹の生態園について、繁茂状態に混みあった竹を間伐するなど、適切に風と日光が差し込むように積極的に竹林整備を行い、本来の生態園に近づけるように努めました。また、最近猪が出没し生態園等を荒らす事態が多く発生していることから、市へ猪対策をお願いするとともに、傷みの激しい園路を市とともに改修に努めました。

(2) 資料館内等の案内の充実

資料館等の見学者に対し、積極的に茶筌・茶道具・竹編針の歴史等の説明を行い、伝統産業への理解と振興に努めました。

(3) 茶筌制作実演の充実実施

室町時代から受け継がれてきた茶筌の伝統技術を間近に見て感じていただき、高山茶筌の素晴らしさを広くPRするため、茶筌の制作実演を毎週日曜日(12月と1月の第1日曜日を除く)と竹あかり実施日に開催し、茶筌の制作説明と各種質問に答え、更なる充実に努めました。

(4) お抹茶体験コーナーの充実実施

年末年始の休園日以外のすべての日においてお抹茶体験コーナーを実施し、茶筌にふれていただく機会を増やすことにより、茶筌のすばらしさを実感していただきました。

また、前年度に引き続き春と秋の天候の良い日に、多目的広場で野点形式でのお抹茶体験を楽しんでいただくなど、真心のこもったおもてなしに努めました。

(5) 直売店の拡大と充実

茶筌19種類、茶道具14種類、編針8種類、の販売をするとともに、はじめての方にも気軽にお抹茶を楽しんでいただけるように、抹茶缶、抹茶碗、抹茶缶、くせ直しなども販売しました。

また、引き続き高山ソフト、自動販売機による飲料水の販売を行いサービス向上に努めました。

(6) 広報・PRの充実

① 高山竹林園のホームページによる情報発信

ホームページの更新をより多くすることにより、イベント情報や地域の魅力を積極的に発信し、一般来園者をはじめ竹あかり等のイベントや各種教室等の参加者の増加に努めました。

② SNS による情報発信

Instagram 及び X を積極的に活用して、竹あかりの開催日程や竹の寒干しの状況、竹林園内の竹・木・花の状況等を積極的に紹介し 来園者やイベント・各種教室等の参加者の増加に努めました。

③ 各メディアへの積極的な情報提供

新聞、テレビ、雑誌等へ積極的に情報提供を行いました。

課題の分析

これまでと同様に「景色がとてもきれいで、静かで、癒しをいただけました」、「落ちつける場所で好きです。職員さんがいつも愛想がよくステキです。」、「気軽にお抹茶が出来、静かな風情をたのしめて、良かったです。」、「自然の空気をおもいっきり感じられて、穏やかな気持ちになれます」などと言っていただく方が多く見られ、竹林園の魅力が伝わりつつあることがわかります。しかし一方、「この場所(竹林園)を知らなかった。」といった意見もいただいていることから、今後とも認知度アップと更なるサービスの向上に努める必要がある。

自己評価

茶筌師の伝統と匠の技を間近で見て感じることができる「高山茶筌の制作実演」を毎週日曜日に実施、自分で点てて自分で飲む「お抹茶体験」を毎日実施、また入館者への積極的、丁寧な説明など来園者目線での事業展開により、来園者へのサービスの更なる向上に努めるとともに、指定管理を受託した当初より特に力を注いでいる竹林整備や園内施設の整備や日々の草刈りや清掃を積極的に行うことにより、来園された方々から「手入れの行き届いた素敵なお庭でした」などとお褒

めを多くいただいております。

また、今年度も実施した利用者アンケートの「高山竹林園をご利用いただき満足いただけましたか」との設問に、ほぼ全員の方に「満足」、「やや満足」とのお答えをいただき、高い評価をいただきましたが、残念ながら行楽シーズンの天候不順や夏場の超猛暑などにより、来園者数は前年度に比べ大きく減少となりました。

今後とも、竹林や園内施設の整備などに努め、積極的、丁寧な説明などを通じ利用者に高いサービスを提供し、より多くの方々に来園ただくよう努めるとともに、生駒市の地場産業である茶筌などの竹製品生産の振興と、地域の活性化に努めてまいります。